

## 授業科目 陸上競技指導法実習

【担当教員名】 丸山 敦夫		対象学年	3・4	対象学科	スポーツ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：GIO】 陸上競技の短距離走、ハードル走、長距離走、跳躍、投てき、リレーの各種目の指導法を学生自身が教師や指導者の立場になり、授業する。学生たちが教師役と生徒役になり教授法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 陸上競技の特性を理解して陸上競技指導法を身につける。 1. 学生は指導案を作成し指導者としての素養を身につける。 2. 学生は教師役と生徒役に分かれてそれぞれの立場で授業のあり方を考える。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	陸上競技の指導案の作り方				担当：丸山 敦夫
2	短距離走、ハードル走の指導案作成				担当：丸山 敦夫
3	短距離走の授業法				担当：丸山 敦夫
4	ハードル走の授業法				担当：丸山 敦夫
5	長距離走の指導案作成				担当：丸山 敦夫
6	長距離走の指導法				担当：丸山 敦夫
7	走り幅跳び、走り高跳びの指導案作成				担当：丸山 敦夫
8	走り幅跳びの授業法				担当：丸山 敦夫
9	走り高跳びの授業法				担当：丸山 敦夫
10	砲丸投げの指導案作成				担当：丸山 敦夫
11	砲丸投げの授業				担当：丸山 敦夫
12	リレーの指導案作成				担当：丸山 敦夫
13	リレーの授業法1				担当：丸山 敦夫
14	リレーの授業法2				担当：丸山 敦夫
15	まとめ				担当：丸山 敦夫
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席 各種目で作成した指導者役としての指導案および子供役としての授業実践評価レポートによる			【履修上の留意点】 陸上競技の指導に興味があり実践力を身につけることを希望する学生で、スポーツ実践演習を希望する者		